

# 溶接メタラジーによる「つなぐ」技術の理解・モデル化とその応用



キーワード 溶接、メタラジー (冶金学)、金属、モデル化、材料評価

山下 正太郎 YAMASHITA Shotaro

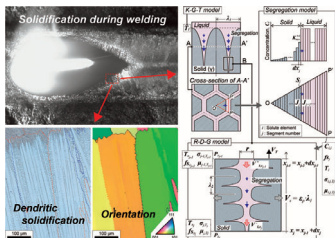
マテリアル生産科学専攻 助教

生産プロセス講座 複合化プロセス工学領域 才田研究室



ここがポイント!【研究内容】

ものづくりにおいて金属材料を「つなぐ」技術は不可欠で、構造物の重要箇所には溶接・接合が使われている。その溶接・接合において素材の劣化（組織変化、性質・特性低下）は避けられず、溶接・接合箇所の安全性は構造物の製造から終局まで問題となる。その中でも金属材料に関連した問題を解決すべく、溶接メタラジー（溶接冶金学）に立脚して、問題を取り巻く現象論、そして現象のモデル化を基軸として問題を理解し、さらに応用することで問題解決に向けて取り組んでいる。



応用分野	金属材料設計、マテリアルズ・インフォマティクス、金属積層造形
論文・解説等	[1] 山下, 才田: 溶接学会論文集, 38(4), 275-290 (2020). [2] 山下 他: 溶接学会論文集, 38(1), 1-10 (2020). [3] 山下 他: 溶接学会論文集, 35(1), 36-44 (2017).
連絡先 URL	<a href="http://www.mapse.eng.osaka-u.ac.jp/w3/index.html">http://www.mapse.eng.osaka-u.ac.jp/w3/index.html</a>

